

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																	
工業	工業専門課程	第1本科(昼) ガーデンデザイン学科		平成17年文部科学省 告示第32号	なし																	
学科の目的	<p>緑化造園とは、景観美を追求するだけでなく、人々に安らぎや癒しを与え、快適な生活空間を提供する。そして昨今、世界的な異常気象や環境問題に直面し、人類と地球の未来のために環境保護や緑化推進における幅広い知識を持った造園技術者がこれまで以上に必要とされている。本学科は、緑化造園分野において高い志のある学生を歓迎し、緑の景観形成を通じて“植物を護り増やし育てる”をキーワードに、民間企業や緑化事業を推進する自治体、また近隣地域とも連携を図った実践教育を大きな柱とする。「人材育成」「専門教育」の両立として、高度な「環境緑化技術」と「ものづくり」を体得すると共に、マナー教育及びコミュニケーション能力の習得に力を注ぎ、社会が求める技術力、行動力、即戦力を兼ね備えた良識ある造園技術者の育成を目指す。</p> <p>カリキュラムは「ものづくり」の計画から完成に至る一連の工程を実務に即した流れで講義・演習・実習科目を順序立てて構成。授業に於いては常に学生に発言を求め学生同志の議論を促しPDCAサイクルを基本とした先進、改革、実学の教育を実施できる就学環境を整えている。</p>																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験 実技																
2年	昼間	1728時間	1635時間	363時間	410時間	時間 時間																
単位時間																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
50人	44人	7人	3人	5人	8人																	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																		
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日		卒業・進級 条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																		
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導		課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンペ部、 建築サイエンス部 ■サークル活動：有																		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 阪神園芸(株)、(株)小林造園、ファミリー庭園(株)、(株)kei's オーセブン(株)、(株)グリーンライフ ■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシート等の書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。 ■卒業生数：21人 ■就職希望者数：20人 ■就職者数：19人 ■就職率：95.0% ■卒業者に占める就職者の割合：90.5% ■その他 進学 大学編入：1人 (令和1年度卒業者に関する 令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2級造園施工管理技術検定学科試験</td> <td>※③</td> <td>20</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>造園技能士2級</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>造園技能士3級</td> <td>③</td> <td>27</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 西淀川区主催の園芸セミナー 堺公園協会との官学連携 株式会社四国化成工業との商品開発 大阪市大和田北公園の環境美化活動(遊歩道整備・樹木剪定・清掃) テクスステージ和泉(銀シャリ上越屋)での管理実習 ※造園施工管理技術検定2級学科試験は、国家資格・検定のうち、最終学年または高等学校で該当する専門教育を受けたものが、学科のみ受験可能である。			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	2級造園施工管理技術検定学科試験	※③	20	17	造園技能士2級	③	9	3	造園技能士3級	③	27	26
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
2級造園施工管理技術検定学科試験	※③	20	17																			
造園技能士2級	③	9	3																			
造園技能士3級	③	27	26																			
中途退学 の現状	■中途退学者 1名 平成31年4月1日時点において、在学者43名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者42名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因理由		■中退率	2.3%																		
■中退防止・中退者支援のための取組 担任指導や教員連絡会での情報共有。専門カウンセラーによる面談。																						

経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度（建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者）、授業料減免制度（生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など） 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金</p> <p>■専門実践教育訓練給付：給付対象</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 評価団体：一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 受審年月：2018年2月 評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
当該学科のホームページURL	<p>https://www.syusei.ac.jp/course/dept_garden.html</p>

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

- (1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析
- (4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成
- (5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。

学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 栄一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンパス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
榎村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③

村松 雄一郎	株式会社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計14回開催

第13回 2019年10月3日18:00～20:00

第14回 2020年2月5日18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見や提案等は、学科長、科目主任を中心に教育課程全体の効果やスケジュールを明確にしている。資格試験への受験機会を広げた。成功体験を積み重ねることで学習意欲を高め、さらに上位資格へのチャレンジへとスキルアップにつなげていく。就職活動時からミスマッチが起らないよう指導と共にインターンシップへの積極的な参加を促した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容
 産・官・民との連携実習や近隣地域と連携した授業展開を実施し地域社会との共生を推進。ものづくり工程を順序立てた線で繋ぐ実習・演習を実施。業界関係団体や卒業生による造園技能士等の資格取得支援。企業によるインターンシップ受け入れと学修評価。企業連携で商品開発、作品を企業にプレゼンテーションし講評を受ける。官主催のイベント参加。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
造園施工Ⅰ	樹木・草花・地被類の植栽及び育成管理技術等について実習を通じて習得する	堺市都市緑化センター
造園施工Ⅱ	公園・庭園等の施設施工技術を実習により学ぶと共に施工管理の現場実務を習得する	株式会社銀シャリ上越屋
庭園デッサン	庭園・公園及び景観を構成する施設等の画法を演習により学びながら設計分析力や独創性を養う	四国化成工業株式会社
企業実習	企業に於いてリアルな施工を実習体験することにより卒業後の即戦能力を養う。	River&Grove
造園施工管理	施工管理の基本となる品質管理、工程管理、原価管理、安全管理についての理解	アイワホーム株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
 「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月26日	四国化成工業株式会社R&Dセンター	シコク景材(株)多度津工場見学	教員	3
6月26日	関西エクステリアフェア2019	関西エクステリアフェア2019	教員	5

② 指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学生成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

主催：関西エクステリアフェア 内容：商品企画および意見交換会
 四国化成工業株式会社現場見学会
 西淀川区緑化美化推進会議

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 教員研修発表会

主催：学校法人修成学園 教職員研修会

主催：大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育研修会

主催：大阪府専修学校各種学校連合会 新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育成人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・同窓会組織と連携を密にするため在校生、教職員が交流できる機会を増やすと共に、学園祭や防災訓練など学校行事を地域住民と一体となって実施すると共に、ガーデンデザイン学科では卒業生・在校生・教員の三者交流組織を構築し、資格取得支援やインターンシップの受け入れ、就活、実習・見学場所の確保、業界の動向・ニーズ等情報共有に努めた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
大槻 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興国学園 興國高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
苅野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開することとする。

教育課程編成委員会学ならび校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成像、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ガーデンデザイン学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			庭園史	日本及び外国の造園様式と変遷、時代背景	1	32	2	○			○		○		
○			造園植物	樹木の識別・特性・分類、造園植物の特性と用法、生産と流通	1	64	3	○	△		○	△	○		
○			植物管理	樹木・植物の訂正な育成・維持・抑制管理	1	64	3	○	△		○	△		○ ○	
○			造園材料	造園材料の種類、造園材料の特性・用途	1	64	4	○			○		○		
○			園芸学	園芸植物の特徴と分類、繁殖、栽培における基礎知識と応用知識	1	64	4	○			○		○		
○			ガーデンデザイン	庭園設計（和・洋庭園）の要素、抑制、設計手法、手書き図面の描き方	1	64	2	○	△		○		○		
○			エクステリアデザイン	エクステリア・外構の要素、特性、設計手法及び実務	2	64	2	○	△		△	○		○	
○			ランドスケープデザイン	多様な空間を対象としたランドスケープデザインの手法、技術	2	64	2	○	△		○			○	
○			環境緑化デザイン	環境に配慮した緑化造園計画、設計	2	64	2	○	△		○			○	
○			エコロジカルデザイン	自然生態を生かしたガーデンデザイン	2	32	1	○	△		○			○	
○			積算	図面、仕様書に基づいた工事費の算出を実行予算作成の考え方	1	32	1	○	△		○		○		
○			コンピュータ演習Ⅱ	造園におけるコンピュータの活用方法とCADによる製図	1	64	2		△	○	○		○		
○			CAD・CG演習	CAD、CGによる設計、施工図作成	1	128	4	○	△		○			○	

○		情報処理	造園・園芸関連等情報収集、処理、データ管理、書類作成	1	32	1		△	○	○		○		
○		造園設計Ⅰ	植栽工法及び維持管理、施工における基本知識	1	64	3		△	○	○		○		
○		造園設計Ⅱ	公園・庭園に関する構造物・施設、施工知識	2	64	3		△	○	○		○		
○		伝統技術	日本庭園の伝統施設と作庭技術、実用性と景観性	1	32	2	○			○		○		
○		造園法規	造園関係法令の種類、造園法令の成立過程、各法令の特性・概要	2	32	2	○			○				○
○		造園施工管理	安全管理・品質管理・工程管理・原価管理、施工計画書の作成	2	64	3	○	△		△	○		○	○
○		造園技能実習	庭園・公園の意匠及び施工要領、実務	2	64	2		△	○	△	○		○	○
○		環境リテラシー	造園を行う上で配慮すべき環境に関する知識と知識の醸成	1	32	2	○			○			○	
○		園芸実習	多種多様な園芸植物の植栽手法と育成、園芸技術の実践	1	64	2	△		○	△	○	○		
○		園芸福祉	園芸療法の歴史、園芸の効果、園芸を活用するうえでの計画手順と療法の実践	2	64	3	○	△		○	△	○		
○		造園施工特論	原論、材料、施工、土木工学、建築学他、施工管理、法規（造園施工管理技士受験対策）	2	64	4	○			○		○		
○		庭園探究	庭園調査、分析	2	64	3	○	△		○		○		
○		プレゼンテーション	デザイン意図の表現技術とその手法	2	64	2		△	○	○	△		○	
○		室内装飾	植物を使用した空間デザイン、グリーンコーディネート、その他装飾技術	2	32	2	○			△	○		○	○
○		卒業設計	設計コース・論文コース	2	64	4	○			○			○	

	○		樹木保護学	樹木の取扱い、環境や生態系の改善 (樹木医資格試験対策)	2	32	2	○			○			○
	○		庭園デッサン	画法、造園素材の表現法、造形デッサン	1	64	2	△		○	○		○	
	○		建設ビジネス学	技術者に必要なコミュニケーション、 ビジネス知識、社会常識、ビジネス文 書作成	1	32	2	○			○			○
	○		芸術	造形芸術、表現芸術等様々な芸術の鑑 賞、色彩表現、作品制作	1	32	1	○	△		○		○	
	○		ワークショップ Ⅰ	建設業やその他業種の企業から、技術 者、設計者等を招いた実務教育	1	32	1	○	△		△	○	○	
	○		ワークショップ Ⅱ	企業や団体・機関などでインターン シップ等経験する	2	32	1	○	△		△	○	○	
	○		土木工学	土木基礎、鉄筋、土木計画、土木施工	1	64	4	○			○		○	
	○		建築学	建築概論、建築と都市環境、建築と造 園	2	32	2	○			○		○	
	○		コンピュータ 演習Ⅰ	Word、Excel、パワーポイント等パソ コンの基本操作習得と各種資料・文書 の作成	1	32	1	○	△		○		○	
	○		起業経営学	起業するための手順と方法	2	32	2	○			○			○
	○		農薬学	植物管理における病虫害の対処方法と 農薬の使用方法	1	32	2	○			○			○
	○		企業実習	概要、設計コース、施工コース・管理 コース	2	40	1				○	○		○
		○	微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	1	32	2	○			○			○
		○	微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講 座	1	32	2	○			○			○
		○	応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○			○			○

		○	応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	2	32	2	○			○		○
		○	物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	1	32	2	○			○		○
		○	物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○			○		○
		○	線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○			○		○
		○	線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書の公式文書	2	32	2	○			○		○
合計				科目	2408単位時間(113単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。	1学年の学期区分
1学期の授業期間		16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。